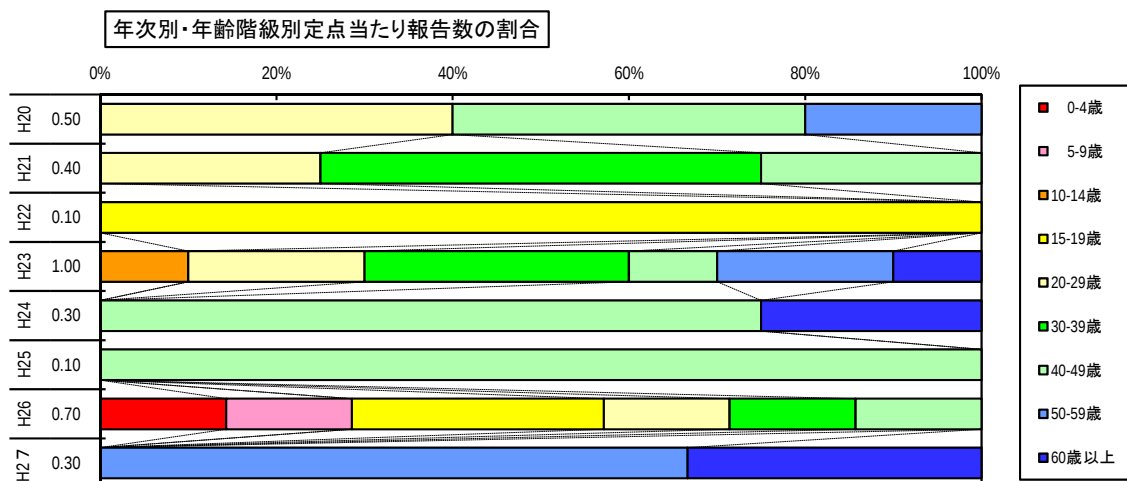
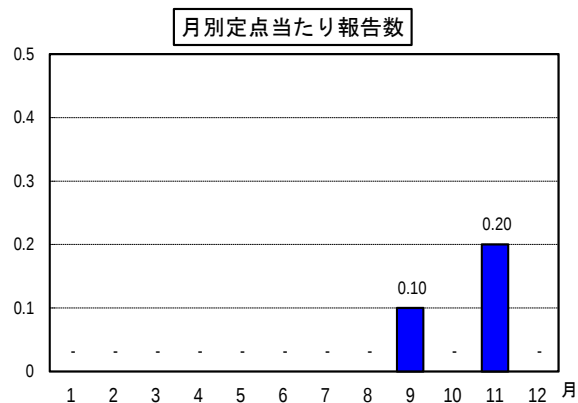
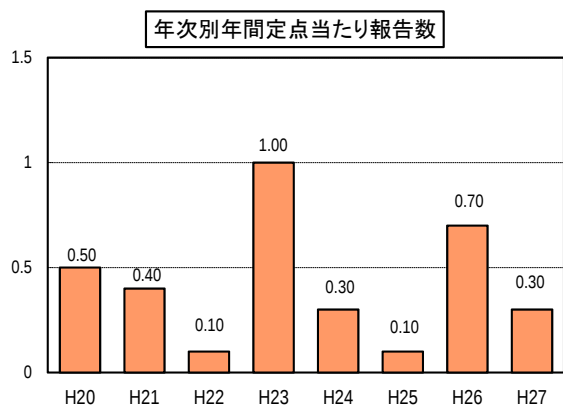
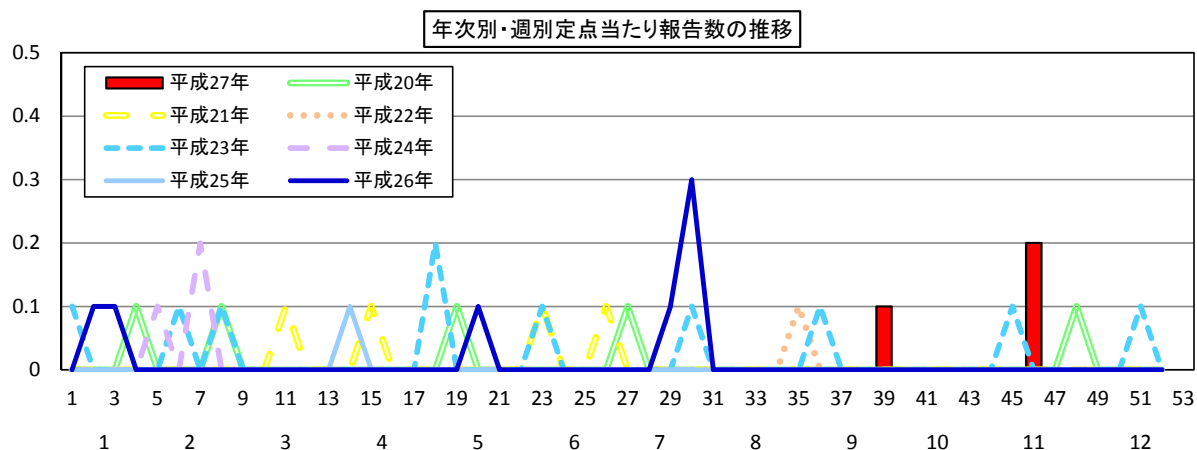


ウ 眼科定点

(7) 急性出血性結膜炎

平成27年は年間報告数3例、年間定点当たり報告数0.30、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.68、前年比0.43であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成22年、平成25年に次いで少なかった。



(イ) 流行性角結膜炎

平成27年は年間報告数205例、年間定点当たり報告数20.50、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.67、前年比0.55であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数と比べると、最も少なかった。

月別定点当たり報告数では、6月(4.00)、11月(2.90)、8月(2.20)が多かった。

年齢階級別では、30～39歳(30.2%)が最も多く、次いで20～29歳(14.6%)、40～49歳(12.7%)の順であった。

